

市民公開講座  
4 講座開催

入場料  
無料

# 施設での看取りを考える

～看取りの障害に

なっているものはなにか～

施設は、多死社会の救い手となるのか。  
多様な高齢者施設が、自宅と共に、看取りの場所としての役割を大きく期待されつつも、横たわる課題は多い。その解決の糸口を探る。

第15回 日本在宅医学会大会  愛媛

平成25年 3月31日 日 13:30~15:30

会場：ひめぎんホール（愛媛県県民文化会館）真珠の間 A  
〒790-0843 愛媛県松山市道後町 2 丁目 5 番 1 号

<http://www.tampopo-clinic.com/zaitaku2013/>

今般、病院の機能分化、急性期病院での在院日数の短縮化が進み、急性期病院での看取りは困難な状況となっています。また、療養型病床数は高齢者人口の増加に追いつくどころか、むしろ減少の方向で厚生労働省は考えており、病院での看取りはこれ以上増やせない状況となっています。

現在は病院において死を迎えるということが一般的ですが、国は在宅医療を推進し自宅での看取りの選択肢を広げようとしています。しかし、介護力のない場合、自宅での看取りには限界があり、今後、多死社会をむかえ自宅以外の多様な高齢者対応施設がその役割を担うことに期待が寄せられています。

このような社会情勢の下、「施設での看取りを考える」というシンポジウムを企画しました。高齢者施設で看取る上での問題点や施設での看取りの阻害因子の解決策などを意見交換し、多職種が知恵を出し合い、関係機関と協力体制を整え、本人が望む住み慣れた場所でのよりよい看取りができる地域にしていけたらと願っております。共に語り合しましょう、よろしくお願いいたします。

講演 「諦観の看取り」 たんぽぽクリニック 医師 亀井修氏  
報告 松山市内の高齢者対応施設への「看取りについて」のアンケート結果  
在宅医療連携拠点たんぽぽ リーダー 一井美哉子氏  
シンポジウム 座長 長尾クリニック 院長 長尾和宏氏  
シンポジウム 演者 よんでんライフケア 代表取締役常務 竹内直人氏  
シンポジウム 演者 宅老所あんき 代表 中矢暁美氏  
シンポジウム 演者 (株)スローライフ 代表取締役 喜井茂雅氏  
シンポジウム 演者 アユーラ小規模多機能枝松 施設管理者 大野定治氏

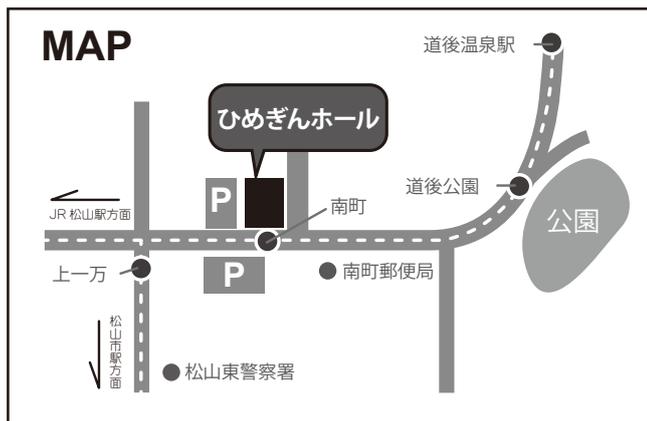
◆命に向き合う時～胃ろうと延命～  
＜完熟一期座による演劇＞

3月30日(土) 17:20～18:20  
会場：ひめぎんホール メインホール

◆高齢者虐待に対応する

3月31日(日) 13:30-15:30  
会場：ひめぎんホール サブホール

◆次の災害時に現場はどう動けるか？外部はどう支援できるか？ 3月31日(日) 13:30-15:30  
～災害医療をめぐるコーディネータについて考える～ 会場：ひめぎんホール 真珠の間B



会場：ひめぎんホール

〒790-0843 愛媛県松山市道後町2丁目5番1号

第15回日本在宅医学会大会事務局

〒791-8056 松山市別府町444-1

医療法人ゆうの森 担当：木原・前島・松重

TEL：089-911-6333

E-mail：zaitaku15@tampopo-clinic.com